

第1学年 特別活動学習指導案

日時 平成18年10月27日(金)第3校時
生徒 雫石町立雫石中学校1年2組
(男子16名 女子19名 計35名)
場所 1年2組 教室
指導者 教諭 平田 隆裕
薬剤師 高橋 菜穂子

1 題材名

「喫煙の依存性のメカニズム」(喫煙の怖さを知ろう)

2 題材設定の理由

現代社会において、中学生の時期にも喫煙・飲酒・薬物乱用の危険性が増しており、緊急に対策を講じることが求められている。特に「喫煙」「飲酒」に関しては、家族の中にも喫煙者や飲酒者があり、身近な問題として捉える必要がある。しかも、「喫煙」は周りへの害(副流煙)も大きい。この煙の中には、多くの有害物質が含まれ、依存、急性影響、慢性影響など様々な健康問題を引き起こす。特に未成年は、これらの健康影響が強く現れる。

これまで、特別活動の時間にたばこの害について学習をしてきた。ここでは、たばこに害があると分かっているのに、何故やめようと思ってもなかなかやめられなくなるのか、その依存性のメカニズムについて理解を深めることが必要と考え、この題材を設定した。

3 生徒の実態

全体的に明るく、いろいろなことに前向きに取り組み、委員会や係、当番の仕事に責任を持って取り組む生徒が多い。しかし、周囲を見ることができずに、興味関心の赴くままに行動してしまう生徒もいる。

体育祭の取り組みを通して、仲間意識が強くなり、一人一人が学級への所属感をもつようになってきた。そして、更に学級を良くしていこうとする意識が高まりつつある。

6月に行った健康についてのアンケートでは、たばこを吸いたいと思ったことがある生徒は3人、ほとんどの生徒は吸いたいと思ったことはなく、また、健康にとっても害があると感じている。これは、小学校時にも薬物乱用防止教育を行ってきたことから、生徒は健康に良くないイメージをもっているのだと思われる。しかし、家族でたばこを吸う人が24人と学級全体の約7割を占めていて、喫煙者が身近にあることや興味本位からたばこに手がかかる恐れがあると思われる。

4 指導計画

- ・「喫煙の害」について知っていることを挙げ、疑問や知りたいことを出し合ってまとめる。 . . . 1時間
- ・「喫煙の依存性のメカニズム」について理解する。 . . . 1時間(本時)
- ・新たな疑問点等、学習内容の進化を図る。 . . . 1時間

5 本時について

(1) 本時の目標

未成年者からの喫煙は、ニコチンによる強い依存を生じることを理解する。

【知識・理解】

20歳になって初めてたばこを吸おうとしている人(将来の自分)への言葉がけを考えることから、責任ある意志決定について理解を深めることができる。

【思考・判断】

(2) 授業の構想

導入では、前時までに班ごとにまとめた「喫煙の害」を提示して疑問点を確認し合ったり、事前に行ったアンケートからの話題を出し合ったりすることで、課題に結びつけていきたい。

展開の薬剤師の講話では、生徒が理解しやすいように視聴覚教材を用いながら進めていきたい。そして、感想を出し合って課題解決に結びつけたい。

終末の言葉がけの対象を、20歳になって初めてたばこを吸おうとしている人とするが、それが将来の自分にも当てはまることを押さえて書かせていきたい。

(3) 展開

過程	学習指導の内容	生徒の活動	指導・援助の留意点
導入 10分	1 「喫煙の害」について、アンケート結果の確認	1 前時までの「喫煙の害」についてのまとめとアンケート結果から明らかになったことを確認する。 ・身の回りの喫煙者の状況（身近でたばこを吸っている人・やめようと思ってもやめられない人など）	・プレテストの結果を生徒と確認する。 ・事前に行ったアンケート結果を提示し、課題につなげる。
	2 学習課題の確認	2 学習課題を把握する。	
	どうしてたばこをやめられなくなるのだろうか。		
展開 25分	3 課題に対する予想	3 たばこをやめられない理由を考える。 ・意志が弱いため。 ・たばこに含まれているもののため。	・学習プリントに書かせる。 ・書かせて発表させた後に、やめられない人（身近な人）の理由を紹介する。
	4 喫煙の依存性についての理解	4 薬剤師の講話を聴く。 「喫煙の依存性について」たばこと依存について脳への影響 その他の依存性の強い薬物について	・担当者 県薬剤師会 薬剤師：高橋菜穂子 氏 （ については軽く扱う） ・講話後に聞いてみたいこと等があるか確認する。
	5 講話を聴いての感想	5 薬剤師の話聞いて、一番印象に残っていることを発表する。	・初めて知ったことを中心に数人に発表させる。
終末 15分	6 自分自身を大切に、責任のある意志決定と行動への意欲付け	6 20歳になって初めてたばこを吸おうとしている人（将来の自分）に対しての言葉がけを考え、まとめる。 ・書いたものを発表する。	・講話で話された内容を含めながら自分の気持ちを素直に書かせる。 ・自分の健康と安全に対する意識化を図る。

6 評価

(1) 喫煙の依存性について理解することができたか。

(2) 20歳になって初めてたばこを吸おうとしている人（将来の自分）への言葉がけを考え、責任ある意志決定について理解を深めることができたか。